



活動ごとに活動報告書を作成しています。
アーティストのコメントから主なものを紹介します。

ベッドで横になっている子どもたちもジャグリングやバルーンアートなどをして話かけると、わずかながら目や口元など表情に変化が表れたりします。表れたと都合よく思い込むこともあります(笑)。

また、今回は僕と保育士さんとの会話を聞いて？笑う子が居て、見ていないようで聞いていないようで実は大人同士の会話も観察しているのではないか…と、芸だけやっていたらいいわけではないのではないかと思が引き締まる思いがしました。

ただ、やはり子どもたちだけでなく親御さんや病院スタッフの方々とも交流したり楽しんで頂けたりすると嬉しいですし、それによって入院している子どもたちにも何か良い影響がささやかだとしてもあるのではないかと後付けの理由ながら。

大人が笑顔だと子どもも嬉しいし安心するような気がします。

その意味で、今回一緒に回って下さった保育士さん方も親御さん方も協力的で笑顔で迎えて下さり、そのお蔭で子どもたちも良くも悪くも(笑)生き生きと参加してくれたのではないのでしょうか。

自分も一緒に楽しませて頂きました。

と、そんなゆるゆると楽しい時間の終わり際、ある女の子が「また来てくれる？」と言ってくれたのがまた嬉しかったのですが、元気に退院して欲しくもあり、また会いたくもあり、こういう時は毎回複雑な気持ちになります。

(大道芸 徳島はっちー)

手術後、あまり笑わなかった女の子が絵本を読むとどんどん笑うようになってきて、会話も少ししてくれました。完成したお絵描きをみせてくれたり、心を開いてくれお話してくれたり。

そんな時がアーティストの心を満たしてくれる時。

ベッドにあったクレパスで、絵本の絵の色が、どのクレパスの色かを当てる遊びを思いつきました。

色を当てながらだんだんと声が生き生きとしてくるその子をみて、とても嬉しくなりました。

個別の多い冬の活動。濃密な豊かな時間が過ごせます。

絵本を読んでいる間は、お母さん達がお出かけしたり、休憩時間になっていたみたい。

お母さん達が少しでも楽になる時間を提供できていたら嬉しいです。

(読み聞かせ 富田泰代)

プロはできて当たり前。だけど病院では褒められ感謝される。もったいないけどとても嬉しくてホッとする。

(読み聞かせ 平沢ゆかり)

病気と一生懸命たたかっている子ども達が、ぼくの絵本と紙芝居で笑ってくれる。

ただただ、それが嬉しくて幸せでした。そして、たたかっている子ども達は病室の中だけじゃない。きょうだいもみんな、家族と一緒に頑張っているんだよね。

親御さんや病院のスタッフさんも、一緒に笑ってくれてありがとうございました。これからたくさん笑顔があふれるように。

今、やれることはやれた。でも、絵本作家としてやれることはもっとある。来月におけて、またシッカリ準備します。

スマイリングホスピタルジャパンの活動も、もっと知ってもらえるよう、だからこそ絵本作家 保科琢音として、もっと精進します。

絵本作家としてずっとずっとやりたかったこと。大袈裟に言えば夢がひとつ叶った日。そう感じる事ができた日。

(絵本・紙芝居作家、読み笑わせ、寄席 保科琢音)



病気と闘いながらのお子さんたち。

1分1秒でも笑顔の時間を増やせば、少しはいろんな痛みから離れる事ができる。

笑顔を増やすその近道は、一緒にその場を楽しむこと。

アーティストがいるだけで、普段の病棟を明るくする事ができる。

お子さんだけではなく、親御さんや病院のスタッフの皆さんにとっても楽しんでいただける時間にできればと思う。

(歌とギター オトイロクレヨン)

最初に参加してくれた男の子がとても元気で積極的でできる過程をすごく楽しんでくれてワイワイお話ししながら笑って作ってくれたのが印象的でした。その後も彼の宣伝効果か、バルーン教室にぞくぞくとお子さまが来てくれたので嬉しかったです。

色もそれぞれ好きな色合いを選べるようにしたので 色とりどりカラフルな元気に泳ぐていのぼりができ、長くて大きめの風船を使っていたので 鱗などを描きお絵描きの部分もたっぷり楽しんでくれて 独創的で発想が面白いていのぼりがたくさん出来上がっていました。

お部屋に回る時間も ていのぼりのリクエストが多く みなさん素敵にお部屋に吊るして楽しんでくれていました。

(バルーンアート 瞳)

子どもたちの反応は様々で、泣く子、笑う子、ぽかんと凝視したままの子、ほとんど表情の変化はないけどコミュニケーションを続けているうちにほんの僅かながら口角が上がる子(こういう僅かな変化に出会えると凄く嬉しい)など、当たり前ですけど全く同じ反応の子はいません。そして、どういう反応であれ心が動くことがまずは大事ではないかなと…。泣かれた言い訳ではありませんが(笑)泣くことも笑うことも驚くことも等しく大事だと思うのです。笑うことだけが正解なのではなく。

そうは言っても笑ってくれると嬉しくて、調子に乗ってプラスのサービスが入ったりするわけですが(笑)。

これは毎回のことですが SHJ 活動の帰りは自分でも妙なくらい清らかな気持ちになっていて、しばらくは心穏やかな優しい時間が続きます。入院中の子どもたちと接し、喜んでもらえるという体験は普段の生活では味わえない感動で、その感動を通じて逆に自分のほうが洗われるような感覚があります。

残念ながらその日のうちに元の自分に戻ってしまうのですが(笑)。

(大道芸 徳島はっちー)

パステルで紫陽花を描いた後、折り紙で作った葉っぱや色紙をカットして作った蝶を糊で貼ってもらうのですが、私
の見本はそのまま葉っぱや蝶を貼っていました。

が、葉っぱを全面糊で貼るのではなくちょっと浮かせて一部を糊づけして、その上に蝶を半分に折って一部を糊づけ。とても立体的で、まるで本当に葉っぱに蝶がとまっているようでした。

今回も子供達の発想に脱帽です。

それを見た時、なるほど～そんな貼り方もあるのかと私の方が教えられました。

また、保育士さんが前回のパステルの後、画材を購入し院内の活動時間にパステルを取り入れ、子供達とパステルを描いたら、子供達が「これ楽しい」と喜んでいたので話を聞かせていただき、本当に嬉しかったです。

(指で描くパステルアート 佐山雅美)



到着するとすでに聴く気満々な子供達がいって、開始時間前に始めました。子供達も楽器に興味があり近くに来て聞いてくれる子も。病室の外からの演奏依頼ではずっと手拍子をしてくれる元気な女の子がいました。赤ちゃんを抱っこして聞きに来てくださったお母さまから「大きな古時計」のリクエストを頂き、二胡の音色とお母さまの唄で赤ちゃんはとても気持ちよさそうにしていました。3階ではお母さまも楽器の体験にご参加いただきました。

(二胡演奏 近藤多英子)

ポサノバ・サンバも歌いつつ、日本語オリジナルも。

子供たちも参加できつつ、演奏もしっかり聴ける場面もあり、そして音楽だけでなく、絵本も使うというスタイルが定着してきました。

再び絵本「はらぺこあおむし」を完全即興のギターと歌で、歌い読みしました。

アドリブで語りも入れつつ、なかなか盛り上がりました。二度と再現できない演奏だから面白いのです。

インドのスチールタンブドラムも大人気。みんなで叩いてくれました。

普段みたことのない楽器も色々あったので、興味津々。

最後に「では、今日の感想をみんなで言おう」と仕切りはじめる子もいました。

またみんなの目の前で、ドラマーのように堂々と叩いてくれました。

入院中の子ども達が、だんだん笑顔になっていました。

ミッキーマウスの耳バンドを持参して、頭につけてあげたら喜んでくれました。

病室では、音楽がはじまると、脈拍が10も落ち着いたと、ご家族が喜んでくれて。

最後は皆の大好きな「となりのトトロ」を歌いました。子供にはサンバ系が喜ばれるのですが、年齢の高い方には、ポサノバのゆったりした曲も演奏しました。

そのような感じで、二時間あちこちの病室をまわりました。

(ポサノバボーカル&ギター Izatake)

5ヵ月振りのSHJ活動。初の東大病院でした。2階の病室を数部屋訪問の後、プレイルームでのショー。

病室の際は中に入れないお部屋もあり、廊下でのジャグリング等で対応しました。その中で、普段は見せないという反応を示してくれた6年生の男の子と出会い、普段のその子を知らないため比較できないながらも嬉しく思いました。もしかしたら必死になっている僕に気を遣って反応してくれたのかも知れませんが(笑)。

他の病室の子どもたちも、大きな反応ではないもののそれぞれに小さな変化を見せてくれて一まず良かったのかなということと、それに加えて子どもよりむしろ親御さんから良い反応を得られたことも個人的に嬉しいことの一つです(笑)。

次の3階ではショーをさせて頂いた後そのままバルーフのプレゼントを行っています。

ショーが終わるとまさかのアフコールを頂き、喜ぶべきところでしたが、ネタを出し尽くしており戸惑い…無理やりパントマイムでしのいでいます。その際、小学生の女の子たちがマイムの壁を見て悲鳴に似た歓声を上げてくれたことで上手く行った風になり嬉しかったです(有り難う)。

バルーフのプレゼントも親御さん含め喜んで頂けたようで、また、喋りも笑って頂けて(最近ほとんど喋るのが×イフになっている気がします)安心しました。

相変わらず子どもたちが僕を下に見てくれてイジってくれたり、イタズラしに来てくれたりするの嬉しく…。

と、嬉しいことがたくさんあった久々のSHJ活動でしたが、やはり癒され励まされ元気を頂くのは自分のほうで、また貴重な機会へ復帰できたことそのことを嬉しく思います。

(大道芸 徳島はっちー)

車椅子の男の子、保育士さんと一緒に青い粘土を選んで混ぜる、型で抜く、ひとつひとつの動きのあとに大きく顔をあげて笑ってくれた。病室にて、手術を終えたばかりの女の子、左手に点滴と検査器具がついていて右手のみで作業、わたしがバンドをつけるお手伝いをして、静かに飾りをレイアウトして作った、最後に「すごく楽しかった」と言ってくれた。3個作った男の子はピンクのリボンを選び、2人の妹の分のオーナメントを作って行った。ある男の子はひと通り型抜き作品を作った後、残りで桃をつくり、ビーズで目や口をつけて粘土の表情を変えたりしながら、声を上げて笑っていた。

(制作活動 三輪ゆうこ)



いつも私たちの到着を心待ちにして待っていてくださる施設。今回もたくさんの利用者さんが職員さんが待っていてくださいました。

2階は医療度の高い方が入所されています。呼吸器を付けた方も多く、些細な表情や動きが見逃せません。今回もご家族さん、スタッフの方もたくさん参加してくださいました。

5月は、お天気もよく気候もよくお出かけ日和です。おたしたちさとゆかも2人であちらこちらに遊びに行っています（笑）。外に出て行くことがむずかしい子どもたちのために今回のテーマは遠足。ピクニックで動物園にでかけ、色々な動物になりました。トレインホイッスルを鳴らして汽車にのってお出かけです。汽車、トンネル、汽笛、景色をコミカルトレインという曲にあわせて表現します。みんなで汽車に乗ってお出かけをした気分になりました。

ダンスをしたり歌ったり、今回もとっても楽しい時間になりました。

（音楽遊び さとゆか）

久しぶりの神奈川県立こども医療センターは、グリーンルームでの活動でした。病院内を移動中に、毎年見る手作りのオーナメントは素晴らしく、大人も子供も和ませてくれます。今回は個室回りはなく、プレイルームでクリスマスソングを中心に聴きいただきました。

アップテンポのクリスマス曲では、小さい車椅子に乗った女の子のお母さんが、ニコニコしながら手拍子をして下さったのですが、女の子は痛みがあるのか、しばし無表情のままでした。するとお母さんが、女の子の両足を持って「ほらトントン！」と足拍子を始めたら、女の子は嬉しそうにキャッキヤと笑い始めました。その後、クリスマスのバラードを何曲か歌ったら、お母さんと一緒にジッと聴いてくれました。お母さんご自身も楽しんで下さったそでした。たまたまプレイルームに絵本があったので、「はらぺこあおむし」の歌語りも。絵本を持って下さったアシスタントの奥村さん、どうもありがとうございました。

その絵本を、最前列でビックリしたりニコニコしたり見ていた男の子がいました。今回最年長の中学2年の、その男の子は、ピアノを独学で勉強して合唱の伴奏を務めた事もあるとのこと、「ブルース・ぞうさん」の後、一緒にブルースセッションの連弾をしました。初めは片手だけでしたが、そのうち両手で弾き始め、ふと見ると、点滴ではなく赤い輸血パックをつけていたので、大丈夫かなと思いましたが、音楽が本当に好きな様子だったので、「何か弾いてみますか？」と聞いたら、小さな声で「ハッピーバースデーの曲」と。せっかくだから、プレイルームにいた人に12月生まれの方はいらっしゃるか聞いてみたら、ちょうどお母さんに抱っこされた女の子が手を上げてくれました。そこで、K君のピアノ伴奏で皆が、Rちゃんのお誕生日おめでとうの歌を歌いました。Rちゃんもお母さんもチョッと嬉しそうでした。

院内学級の先生が待っていて下さったようで、テレながらピアノ少年が帰り、はしゃぎ疲れた小さい女の子達が帰った後は、お父さんとお母さんに交代で抱っこされた男の子のNさんファミリーコンサートになりました。お父さんが、「お母さんもピアノを弾ける。」とのこと、で、「大きな栗の木の下で」「南の島のハメハメ八大王」「森のクマさん」などをお母さんと連弾やソロで弾いて頂きながら、私はお遊戯と歌、お父さんは抱っこしたまま歌い踊り、男の子はニコニコの大喜びでした。最後は思いがけず、素敵なお家族とのコラボで盛り上がり、男の子の笑顔に、私の方が癒されました。

（シンガーソングライター弾き語り） 石橋和子



漠然とした音楽の空間の中で、少し体を触ったり、手に触れたりして合図を送ると声を発してくれる子ども、手をあげてゆっくりと楽器を触ってくる子どもがいました。その瞬間は本人が表現者としてとても意欲的に取り組んでいるようにみえました。

（ピアノ 豊雅子）

1. 今日は何の日？

2. 道化師のギャロップ---もっきんの自己紹介です。速い曲で気分はかかって。

3. 千本桜---もうすぐ桜が咲きそうですね。

小中学校の器楽合奏でもよく演奏される曲です。

4. 春の曲×ドレー

チューリップ～ピバルディの春～どまかで春が～×フデルスゾーンの春の歌、など

5. フリースタイラーNARI 氏のスペシャルタイム

この日、カホフの演奏で盛り上げてくれた NARI 氏。

×イン活動であるバスケットボールの技を披露していただきました。

6. あなたも弾いてみませんか？

ミニ木琴を2名の子ども（男の子、女の子）に体験してもらいました。

後で看護師さんに聞くとフロアにあるピアノでみんな熱心に練習しているので

鍵盤の並びがピアノといっしょの木琴はかんたんに感じられたようです。

7. 最後に「さくら さくら」によるテーマとバリエーション

はやくお花見の季節が来ますように。（この日はまだ開花していませんでした）

（マリimba・木琴・鍵盤ハーモニカ 永野貴子）

ロープに括った人形を引っ張ってもらった時、積極的に引っ張ってもらったのが楽しかったのかロープをなかなか離してもらえなくて、何回も引っ張ったり戻したりと、とても気に入ってもらえました。動物の鳴き声紙芝居をやった時は、声に出して笑ってくれたり、よだれが沢山出て、表情もコロコロと変わりました。リズム紙芝居では、リズムに合わせて、太鼓を叩いたり、鈴を鳴らしたり、『せーの』の掛け声に合わせて鳴らしてくれたり、私のリズムに合わせてくれたりと、素晴らしいセッションが出来ました。会話がなくても、音でコミュニケーションが出来た事、子ども達が私のヘンテコなリズムにもかかかわらず答えてくれたことに、言葉が無くても通じ合える素晴らしい体験を体験できました。子ども達に感謝の気持ちでいっぱいです。

ペパニカという楽器も、やってみたいという気持ちを引き出せて良かったです。自分で弾いて不思議な音に耳を澄ませていました。

45分は長いかなと心配していましたが、飽きずに楽しんでくれました。終わったら寝てしまったけど、でもそれくらい集中してくれていたんだと嬉しかったです。

（読み聞かせ 富田泰代）

ベッドサイドで二十歳の男の子に点字で「少年と子だめき」を聞いてもらいました。

彼はほとんど目を閉じていたようですが、物語の中で子だめきがしゃべるところや、歌のときなど、目を空けて聞いてくれたようです。言葉は言わなくても、心で感じてくれているのを感じました。

どの子も声はあまり出しては貰えませんでした。松本さんが「絵に手を延ばしていた」とか、絵を見てるよ」とか「昭恵さんを見てるよ」とか教えてくれて、そういうのを聞くと、私はとても嬉しくなりました。

絵本を読みながら話しかけると、答えは聞かなくても、頷いていてくれるように感じて、今の穏やかな温かい時間を一緒に過ごせることがとても大切な時間に思えます。

点字にも興味を持ってくださったお母さんがいらして、とても嬉しかったです。

今日は沢山の子たちに出会えて聞いてもらえてとても嬉しい一日でした。

（語り） 川島昭恵

大道芸という空間を大きく使った演目は 拘縮などで動き・視野狭窄などの状態でも目にする事が出来るのでリクライニングの車椅子での参加が多かった。居室では限られた時間をストーリー仕立てで演じた。 見ている方にも一緒に参加している達成感を感じてもらえたと思う。

（大道芸 あまる）



今回は子供たち参加型のマジックを多く取り入れ、自分たちもマジックをしているような不思議な世界を楽しんでもらいました。どのマジックにもみなさん積極的に参加してくれたので大変盛り上がりました。時間前からプレイルームに一人の女の子が待ちわびており、開始直後はその女の子一人の貸し切り状態でのオープニングをしましたが、徐々に子どもたちが集まってこられました。最後のマジックにもその女の子の登場してもらい一緒にテーブルを浮かせました。子供たちみんな目の前に繰り広げられる魔法のような世界をととても楽しんでおられました。

(マジック ケニークロギ)

子供ホスピスの存在を、私は最近知りましたが、日本ではまだ数少ないのだと思います。もみじの家もまだ寄付金で成り立っているという事で、世の中に知ってもらいたいと感じました。重い障害のあるお子さんやその家族が、社会的にも広く理解され、お互いに支え合って生きていける社会にしていきたいと思います。

(ボサノバギター&ボーカル Izatake)

こどもたちは、色々な形で参加しています。積極的になんでもやりたい子、遠くから見て参加している子、周りの様子をみて参加している子、病室から聴いている子。どんな参加の仕方でもできるのが音楽かなと思います。

(音楽遊び さとゆか)

病棟内に貼ってあるポスターを見て、楽しみにしている子がいると聞き、とても嬉しかった。リクエストに応える形で絵本を読むと、子どもたちも喜んでくれた。毛糸の手袋作りは、母子で協力して、楽しみながら取り組んでくれてよかった。保育士さんが、「長期入院中の子どもたちは手先が器用になるから、工作は向いている。またぜひ。」と仰ってくださいました。

乳児室で7ヶ月の男の子に、『あなたがだいすき』を読んだ。保育士さんの膝の上で抱きしめられながら、絵本を見たり、わたしの顔を見たり。物語の意味が理解できていないわけでは無いけれど、わたしたちの気持ちは感じてくれていると思えた。絵本を読むという行為は、「あなたがだいすき」と伝えること。それが親子でできた一番良いし、親子でなくても、わたしのような読み手や保育士さん、周りにいる誰しも、絵本が1冊あれば、その気持ちを伝えられる。愛情を分かち合えるすてきな方法のひとつなのだ。そう、改めて感じる時間だった。

(読み聞かせ&工作 近藤麻智子)

入所者(利用者)さんの笑顔が見られたり、楽しんでいる声が聞けたりして、温かい時間を作れたことです。それから職員さんも一緒になって参加してくれ、笑顔がたくさん見られたことです。

入所者さんたちの表情を読み取るのが難しいこともあり、本当に楽しんでもらえているのかどうか不安に感じる場面もありました。ただ、職員の皆さんが横で「笑顔が出てる」と教えてくださったり、終わった後に「ダンスという大きな動きがあったのでみんなの反応も大きかったです」と言っていただけで、ホッとしました。少しずつわたし自身も慣れていって、これからたくさんの笑顔を見せてもらえるよう努めたいと思いました。

(タップダンス 田中エリカ、ピアノ・オルガン 井戸ひろみ)

時々繰り出す様々なインテキに必死にリッコミを入れる子ども達を見てるのが楽しかったです。

(大道芸 たつきゅうさん)

今年から一年生になる子供は SHJ の演奏を聴くクラスからも卒業して場所が変わるらしく、その事を保育士さんが伝えると 卒業する子供は 名残惜しそうに 私達の名前を繰り返して呼んで話しかけてくれ、SHJ のひと時を楽しんでくれていたことを感じ 嬉しく思いました。

(ラテンボーカル 河上美春)



桜が咲いて外は春の陽気なのに、室内で過ごす子供たちにとって今日のプログラムはお花見設定で楽しんでくれたようです。花見団子やおにぎりやジュースのオカリナは楽しんでくれました。個室をまわってポケットを叩いてもらったとき男の子が元気いっぱい叩いたのは嬉しかったです。

(アコーディオン・オカリナ 野口美紀 チューバ 森藤みこ)

最初に伺った広めの病室では、お昼寝のお子さんが多い…とのことで、小さめの声で歌ったり、ピアノをメイフに弾いたりしました。ショパンの「ノクターン作品 9-2」を最後まで弾くと、保育士さんが「こんな風にお昼寝タイムに聴けるだなんて…良いなあ！」とおっしゃって下さいました。

ある病室では、最初は(私から見)反対側を向いて横になっていた小4くらいの男の子がいました。途中から向きをかえてこちらを向いてくれたので、「何か好きな曲はあるかな…？ドラえもんは？」などと聞いていくと、どれも首を振り、いくつか聞いたあとに「忍たま乱太郎の 勇気 100%は？」と聞くと、「まああ」と答えてくれました！しっかりと聴いてくれていて、とても嬉しかったです！すると…、保育士さんから「あの子は、入院してすぐ次の日にオペでその後は痛くて泣くか、痛み止めを打つか…で、話したところを見たことがなかったから、さっきみたいな場面をみることで…、本人の声を聞くことができ…本当に良かった！」とおっしゃって下さいました。同室の奥にいた女の子がアナ雪をリクエストして、喜んでくれていたので、まわりのお子さんの反応のおかげもあったのかな…と思います。

プレイルームでは、「ABCソング」(きらきら星)をリクエストされた赤ちゃんを抱いた御母様がいらして、ピアノを弾く手が見える位置から、「大好きなんです！」とおっしゃりながら楽しそうに聴いて下さいました。それを見て、奥にいらした別のお子さんの御父様が、「ひげじいさん」をリクエストされました。楽譜がなかったので、携帯ですぐに歌詞を検索してうる覚えの中弾いてみると、到着した時は泣いていたお子さんが、ニコニコしながら手を動かしたりしてくれて、とっても可愛らしかったです。喜んで頂けたようで、安心しました。小4くらいの女の子は、ディズニーが好き…とのことで、アナ雪やラプンツェルの曲を歌いました。途中から来た女の子は、「リクエストあるかな？」と聞くと遠慮していたので、曲当てクイズを入れると、そのあとドラえもんの「ひまわりの約束」をリクエストしてくれました。とても好きな曲のようで、よかったです。ある御母様から朝ドラの曲をリクエストされて、楽譜がなかったため、ネットのサンプル楽譜(所々 サンプルで読めないのですが)を見ながら少しだけ弾きました。最新の朝ドラ曲の楽譜も、次回は準備しておこう！と思います。最後は、「星に願いを」を歌って終了しました。

乳児院では、今回はピアノを隅に配置し、始める前に「前に出てきて良いのですが、ピアノは大事大事！なので、このあたりくらい(指差し)までにしましょうね！」とお願いのアナウンスをいれました。そうすると、落ち着いた雰囲気の中で活動でき、良かったです！演奏中にピアノの下にもぐったり…といったお子さんがたくさん出てくると、ケガなどにつながらないかな…？とちょっとこここのところ気になっていたのですが、行く前に小田さんと相談しておいて良かったです！！

今回は、中盤に「はらぺこあおむし」をいれると、よく集中していたので、良かったです！最後に歩く活動を入れて終了しました。

(ピアノ弾き語りなんでもリクエスト 眞理)



ブラジル打楽器は珍しくとても喜んでもらえました。長期間入院、手術も繰り返されていた患者さんが退院の際SHJの日をとても楽しみにしていた、退院したら歌が聴けなくなるのが残念、との言葉を残されコーディネーター田中さんが作ってくださったアーティスト写真入のご案内ポスターを大切に持ち帰られたと師長さんから聞きました。まさしくSHJの理念の如く楽しんでいただけていたことを知り、この活動と毎回丁寧にのご案内を作ってくださいる田中さんに感謝でいっぱいです。

(ラテンボーカル 河上美春)

最初車椅子で連れてこられて楽器を持つのもイヤイヤしていた子供が終わるころにはシェイカーを全力で振っていた。しばらく子どもの様子を不安そうに見ていたお母さんが、手話歌と一緒に歌っていたら自然と笑顔になった。今回は手話歌を見て感じるだけでなくみんなでやってみることにチャレンジ！それでとてもいい笑顔が生まれ、ピースサークルとなっていました。限られた時間、限られた人たちだけで行っただけのほんの少しの幸せかもしれないけれど、これがずっと心に残ったらいいなと感じました。

(パーカッション 西純江、カラーセラピー・パステル和アート 河井麻美)

利用者さんも職員さんも喜んでくれていました。

以下ルルドの担当の楯さんからのメッセージです。

おはようございます。昨日は素敵な演奏ありがとうございました。

いつもと一味違った演奏会でしたが、皆さんゆっくりと耳を傾けていらっしゃいましたね。アクティブな方だけでなく、大きな音が苦手な方にとってはゆったりと心休まる時間になったようです。久しぶりにヴァイオリンの音色を聴いて私も心の霧がす〜っと晴れていくようでした。ありがとうございました。(音楽遊び さとゆか)

音楽発達心理士の伝える音楽とバルーンアートを組み合わせた2人での活動は今回がはじめてでしたが、音楽に触れながら、歌の歌詞に出てくるものを 並行して立体のバルーンで表現することにより、情景が浮かび子どもたちの想像を助けることができました。

音楽と風船 2つの効果で 小さなお子さまから 大きなお子さままで 幅広く伝えることができました。

病室を回る時間も ただ風船を作りプレゼントするだけでなく、歌ったりお話ししながら一人一人と向き合い、皆しっかりお話ししてくれて 普段できないコミュニケーションがとれたように思います。

ベッドに寝たきりのお子様も 表情が変わって 楽しげに反応してくれたように写り 嬉しかったです。

(バルーンアート 瞳、音楽発達心理士 関野麻理子)

インフルエンザということで人数が少なかったのですが、先生方が大変盛り上げてくださって、楽しい会になりました。『おべんとつくる』のパネルシアターでは、空っぽのお弁当箱に、皆で具材を貼るというのをやりました。動かにくい手を手伝ってもらいながら、一人一枚貼るといって皆で作ったパネルシアターは楽しかったです。歌紙芝居では笑ってくれるお子さんや、おにぎりの紙芝居では皆で振り付けして、体を動かしました。いかたろうの絵本では、保育士さん、看護師さんと皆でイカダンスを踊りました。先生たちの笑顔が見られたのは、嬉しかったです。

前回内容を詰め込み過ぎたので、自分が歌を歌うのですが、皆で歌うというのを意識しました。以前行った時、あまり表情が変わらなかった女の子が、今回は表情変わったのが印象的でした。

兄弟預かりの所では、長いお話も聞いてくれました。いかたろうの絵本ではお父さん、保育士さん皆でイカダンスをして、楽しい会になりました。(読み聞かせ 富田泰代)



利用者さんも職員さんも喜んでくれていました。

以下ルルドの担当の楯さんからのメッセージです。

おはようございます。昨日は素敵な演奏ありがとうございました。

いつもと一味違った演奏会でしたが、皆さんゆっくりと耳を傾けていらっしゃいましたね。アクティブな方だけでなく、大きな音が苦手な方にとってはゆったりと心休まる時間になったようです。久しぶりにヴァイオリンの音色を聴いて私も心の霧がす〜っと晴れていくようでした。ありがとうございました。(音楽遊び さとゆか)

シルクがステッキに変わる

空の袋から箱が出てくる

トランプが小さくなっていく

黒いレコードがカラフルに変わる

リンゴのカードとバナナのカードの当てっ

コインが無限に出てくる

テーブルが浮く など、参加型にて一緒に楽しんで頂きました。

お子様ももちろんですが 親御さんの喜んだ表情を見られたのが印象的でした。

親御さんにとってもお子様にとっても 心から楽しい時間であっていただけたら嬉しいです。

ショーに参加した子の表情がパッと明るくなる瞬間を感じられたことが幸せです。(大道芸 あげーす・のぞ)

今回は、小さな赤ちゃんからベッドやバギーで参加の重度身心障害児の子供、発達に支援が必要な感じのおしゃべりな男の子(笑)しっかりした小さな女の子たちで活動しました。

姫路日赤は、重心の子の入院も多くよく参加してくれます。師長さんがとても活動を喜んでくれていて、積極的にごどもたちに声をかけてくれます。特に経験値の少ないと思われる重心の子や未熟児の赤ちゃんに。本当に有難いです。個人的に職業柄、彼らに接することは大好きなのでとてもうれしいです。反応が見えにくい子供たちですが、感じているだろうし聴こえていると思っています。私は、そのように子供たちに接し対応してくれる師長さんが大好きです。

でも残念なことに来年度4月から異動されるみたいです。きっと次の師長も意思を受け継いでくださる方だと信じています。
(音楽遊び ゆか)

英語50%、タガログ語50%というフィリピン人の親子がいらして、持って行っていた英語の絵本を読むと喜んでくれました。今回はたまたま実験的に英語の本を持って行ったのですが、次回から必ず英語の本も持って行こうと思いました。

こないだまで元気に走り回っていたのが突然寝たきりになってしまったという男の子に「もういいかい はるですよ」という絵本を読んだら、保育士さんが涙ぐみながら「お母さんに聞かせたかった...」と言ってくださったのが嬉しかったです。病室から出られない子どもたちだからこそ、外の季節がわかるような絵本は今後も持って行こうと思いました。(ラジオDJ・読み聞かせ 空木マイカ)

予定していたプログラムとは違う内容に。最終的には参加者の顔ぶれを見て、プログラムを進めながら。だったらプログラムを決めなくてもいいように思うが、事前の打ち合わせ練習を念入りに行っている時は、プログラムを使わなくても不思議と上手くいく。

今回は、自分で選択した打楽器をつかって表現してもらった。看護師の実習生や師長も一緒に参加して楽しい時間になった。普段辛い治療をして泣いたり怒ったりしている子供の笑顔は、看護師さんにとってもほっとするのではないのでしょうか。(音楽遊び さとゆか)

開始直後に小児科のドクターがのぞきにいらっやいました。ドクターに活動に興味をもつていただくことやその場で聴いていただけるのはいいことだと思います。3.音に敏感なお子さんがいらっやるので最初は注意してそっと弾いていますが毎回気が付くと普通に弾いて終了しています。マリフバの音色の癒しの手カラではないかと思えます。

(マリフバ、エレピ、ピアノカ、小物打楽器 永野貴子 豊雅子)



いつも私たちの到着を心待ちにして待っていてくださる施設。今回もたくさんの利用者さんが、職員さんが待っていてくださりました。

春が来たことを音楽と楽器で表現する活動。外に出ることが難しい方たち。鳥の声やかえるの声、暖かい春を感じることの出来る音楽。すごしでも季節が変わったこと感じてもらえていたらいいなと思います。入所ですが、ご家族が面会にきていることも多いです。なので、今回も何組かはご家族で参加。さすがご家族。お子さんのちょっとした表情も見逃しません。見習いたいです。

色々な体験も難しい方たちなので、このように私たちが訪れて見たことのない楽器や聞いたことのない音、生の演奏は、とても意味のあることだなと改めて思いました。
(音楽遊び さとゆか)

今回のテーマは可愛らしいお花でしたが、男の子もみんな楽しそうに作ってくれました。

風船を体験したことがある高校生の男の子は、犬やキリンを自分より小さなお子さまに 作ってみせてくれたりと年齢差など関係なくみんなで和気藹々 皆 仲が良くていいなあと思いました。

とても陽気な男の子が、僕が届けてあげるねと言って、プレイルームに参加できないベッドのお友達に 何度も何度も 風船を運ぶお手伝いをしてくれて 助かりました。

お誕生日の子もいて その子にはケーキの風船を作ったり、愛用のめいぐるみと同じ風船をリクエストする子や、ふーせん握り寿司など 楽しいリクエストもあって みんなのいい笑顔が見れました。

これから子どもたちといっしょに いろんな発想を膨らませていきたいと思いました。(バルーンアート 瞳)

プレイルームでのショーの時間。初めは目を合わせてくれなかった子、泣きそうだった子、怖いと言っていた子たちが、パフォーマンスを始めると自分から手を伸ばして近付いてくれたり話しかけてくれるようになったりするの、いつものことながら嬉しいです。

病室では、これから処置室に入るという目に涙を浮かべた男の子のご家族から「風船で剣を」とのご要望がありプレゼント。男の子は涙目ながら好きな色は「青」と答えてくれました。作りながら話しかけ、風船でいたずらし、コミュニケーションを図りつつ風船の剣を作り上げると男の子の顔に笑顔が。ショーの時と同様にささやかでもこういう気持ちの変化を引き出せると、とても嬉しいです。

病室では他に人見知りの女の子や人懐っこい女の子とも出逢いました。人見知りの子はずっと壁のほうに体を向けたままチラチラこちらを横目に見るばかりで最後まで体は向けてくれませんでした。ピフクが好きとのことでピフクのお花やハートの風船をプレゼントし、しつこく話しかけ続けると(笑)少～しだけ表情がゆるみました。その地味な変化の嬉しいこと(笑)。

一方の人懐っこい子は初めから笑顔で、僕のことを「可愛い」と言ってくれたりとウェルカム態勢でしたが、コミュニケーションを取っていると更に打ち解けた姿を見せてくれました。

そして、僕たちのようなパフォーマーもそれは同じで、パフォーマンスでの変化は一時のことかも知れませんが、その明るい変化が新しいことに繋がったり、積み重なって心の持ち方が明るくなったり、長い目で見て子どもたちの良い何かを引き出す一助に…なれば良いなと。

でも、そういう難しいことを抜きに、ただ子どもたちと芸を介して遊ぶということが凄く楽しくて、それで充分かと思ったりもするんですけど(笑)。とにかく病棟で子どもたちと遊ぶことが毎回楽しいんです。

気が付くとスマイリング・ホスピタルの帰りは、いつも清々しい気持ちになっていて逆に子どもたちからエネルギーを貰っています。

今回は普段とは少し違う表現を自分の中から引き出すことに繋がったので、面白く、嬉しかったです。子どもたちのお蔭でまた自分の可能性が広がった気がします！

素敵な機会を与えて下さる病院関係者の皆さん、子どもたち、親御さん方、アシスタントの方々に毎度ながら感謝です。
(大道芸 徳島はっちゃん)

毎回だが鍵ハモの演奏は個性があふれ、サポートをするが、自分が演奏すると手を動かしたり、目を開けたり、表情がかわたりする。今日はチューブがつながり動きも見られなかった子どもがかすかな声を出しながら演奏してくれた。そういう姿に遭遇してとてもうれしい。
(ピアノ 豊雅子)

偶然ですが帰りの病院で、SHJのTシャツを着ていたのも同じSHJ所属のパフォーマーの方から声をかけられました。その方の甥っさんが入院していて、ちょうど今日、私たちが演じた「はらぺこあおむし」を見て聞いてくれて、とってもおもしろかったと言ってましたと、教えてくれました。こういうことは滅多にないので、嬉しかったですね。
(音楽紙芝居 山中一徳 石橋和子)

今回は、雨をイメージした活動。とてもいい天気でしたが（笑）ここは車椅子で過ごしている方々。身体を思うように動かせない人ばかりです。自身の音楽療法の現場でも必ずやりますがまずはストレッチ。ストレッチの難しい方はマッサージ。腕をのばしたり、さすったり。感覚刺激にもなります。少し身体に刺激をおくった所から車椅子ダンスへ。みなさんいつもと違い不規則に動かされる車椅子にわくわくです。合奏は、かえるのうた。さとの様々なアレンジのかえるのうたで合奏しました。ヴァイオリン鑑賞は、♪雨にぬれても♪晴れたらいいね♪虹の彼方に で締めくくりました。アンコールは、現在映画公開されているホールニューワールド。
(音楽遊び さとゆか)



一部を紹介しています。

これからもアーティストの声を追加していきます。

